

# 科学基礎論学会 2019年度 秋の研究例会プログラム

日付:2019年 11月30日(土)

会場: 日本大学文理学部

参加費:無料(非会員:1,000円)

## A会場(4号館1階 412教室)

## B会場(4号館2階 422教室)

### 【A会場】

10:00~12:00 「多元化・ネットワーク化の世界に求められる知の枠組み」

オーガナイザ 田村 高幸(千葉大学大学院社会科学  
研究院)

1 目時 修 (城西国際大学経営情報学部)  
「学ぶことのユニバーサルデザイン」

2 山田 瑞紀 (千葉大学大学院人文公共学府)  
「自己エスノグラフィという記述方法」

3 槇野 沙央理 (千葉大学大学院人文社会科学研  
究科)  
「客観的ということを考えるために」

4 田村 高幸 (千葉大学大学院社会科学研究院)  
「知のユニバーサルデザインを支える論理体系」

12:00~12:15 科学基礎論学会奨励賞発表および授賞式【A会場】

12:15~13:30 昼休み、理事会・評議員会(421教室)

### 【A会場】

13:30~15:30 「人工物の科学基礎論」

オーガナイザ 出口 弘(東京工業大学情報理工学  
院)

1 出口 弘 (東京工業大学情報理工学院)  
「社会を含む広義の人工物に対する知識の構築と運用論」

2 村上 祐子 (立教大学)  
「人工物と人格」

3 寺野 隆雄 (千葉商科大学)  
「人工物科学としての人工知能の方法論的基礎」

4 斎藤 了文 (関西大学)  
「価値と人工物の設計」

### 【A会場】

15:45~17:45 「データ同化の科学論へ向けて: 研究  
実践から論点を探る」

オーガナイザ 大西 勇喜謙(総合研究大学院大学)

1 中村 和幸 (明治大学)  
「データ同化の基礎と適用例」

2 木村 暁 (国立遺伝学研究所, 総合研究大学院  
大学)  
「基礎生物学における新発見にデータ同化はどう有用  
か?」

3 小槻 峻司 (千葉大学)  
「データ同化と経験科学の相似性について」

### 【B会場】

10:00~12:00 「ゲーデルと21世紀の論理学」

オーガナイザ 岡本 賢吾(首都大学東京)  
司会 薄葉 季路(早稲田大学)

1 倉橋 太志 (木更津高専)  
「ゲーデルの第二不完全性定理について」

2 池上 大祐 (芝浦工業大学)  
「ゲーデルのLとその一般化について」

3 藤原 誠 (学振特別研究員PD/明治大学)  
「ゲーデルによる算術の無矛盾性証明と構成主義」

### 【B会場】

13:30~15:30 「証明論的意味論と論理体系」

オーガナイザ 五十嵐 涼介(学振特別研究員PD/  
首都大学東京)  
(学振特別研究員PD/首都大学東  
京)

1 五十嵐 涼介  
「直観主義論理における爆発原理の正当化」

2 山形 頼之 (産業技術総合研究所)  
「双側面古典論理の証明論的妥当性について」

3 福田 陽介 (京都大学大学院情報学研究科)  
「双側面古典論理の計算的解釈」

### 【B会場】

15:45~17:45 「集合と連続体の哲学」

オーガナイザ 菊池 誠(神戸大学)

1 池田 真治 (富山大学)  
「点と線をめぐる数理哲学史」

2 藤田 博司 (愛媛大学)  
「集合論の成立と連続体の哲理」

3 菊池 誠 (神戸大学)  
「数の理解と圧搾論法」

## 科学基礎論学会

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2階 笹氣出版印刷株式会社内  
TEL: 03-3455-4439 URL: <http://phsc.jp/> E-mail: [kisoron@sasappa.co.jp](mailto:kisoron@sasappa.co.jp)